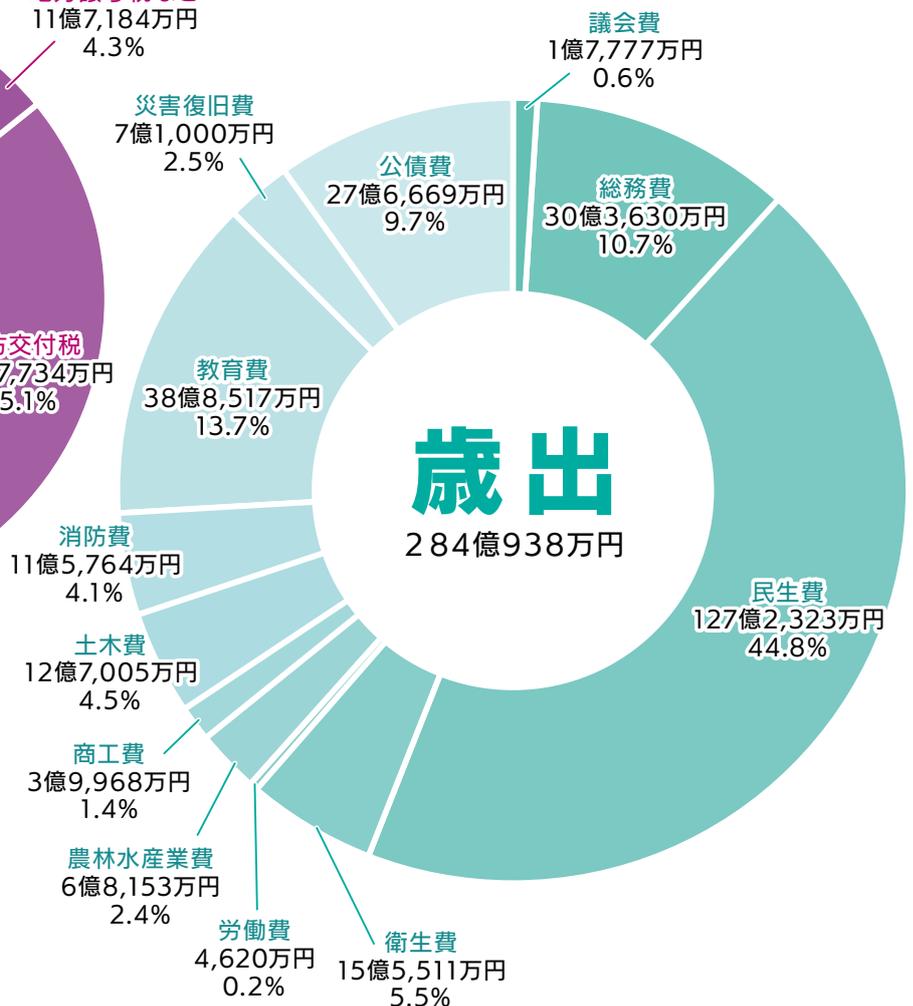
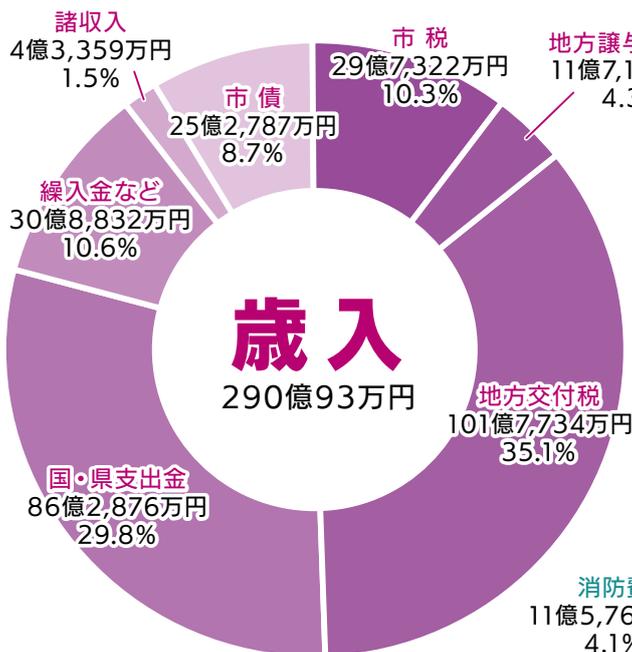


令和5年度 決算6会計を認定

全6会計の決算額

| | | 歳入 | 歳出 | 差引額 |
|-----------------|----------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | | 290億 93万円 | 284億 938万円 | 5億 9,155万円 |
| 国民健康保険事業特別会計 | | 46億 1,487万円 | 48億 8,628万円 | △2億 7,141万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | | 6億 6,777万円 | 6億 5,667万円 | 1,110万円 |
| 住宅新築資金等貸付事業特別会計 | | 3,768万円 | 3,555万円 | 213万円 |
| 介護保険事業 特別会計 | 保険事業勘定 | 56億 6,321万円 | 56億 1,228万円 | 5,093万円 |
| | サービス事業勘定 | 5,912万円 | 5,912万円 | 0円 |
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 6億 4,319万円 | 6億 4,966万円 | △647万円 |
| | 資本的収支 | 5,034万円 | 3億 7,828万円 | △3億 2,794万円 |

※千円以下切り捨て



令和5年度実質単年度収支は

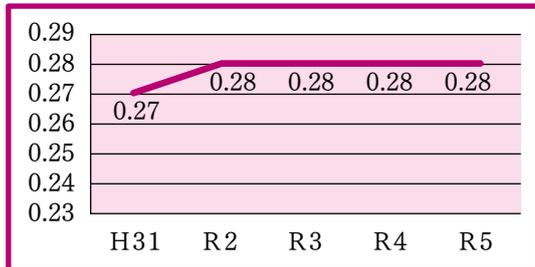
赤字!!

歳入の繰入金などの中には、基金の取崩額が入っています。

つまり貯金を使って黒字を維持している状態です。今の状況のままでは貯金が無くなってしまいます。

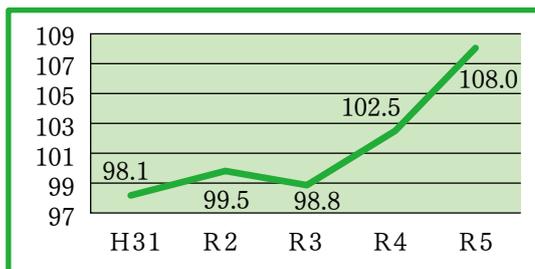
財政状況さらに厳しく

財政力指数



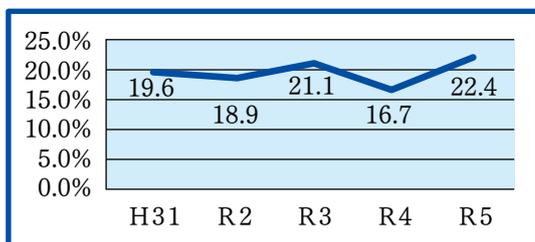
この指数が高ければ高いほど、自主財源の割合が高く、財政的に豊かということになります。なお、財政力指数は1未満の場合、普通交付税が交付されます。

経常収支比率



人件費、扶助費、公債費などの経常的な支出が、市税や普通交付税などの経常的な収入に占める割合です。この比率が高いほど財政の柔軟性がないことになります。

自主財源比率



歳入全体に占める自主財源の割合です。自主財源は、地方公共団体が自らの権能に基づいて、自主的に収入できる財源であり、自主財源の割合が大きいほど、その団体の財政運営の自主性と安定性が確保できることになります。

決算特別委員会での質疑 ※一部抜粋

Q 経常収支比率が悪化した原因は？

A 【物件費・扶助費・補助費等の経常経費の増加】

- 物件費…学校給食調理等業務委託(新規事業)
ごみ収集委託(搬入先変更による運搬費増額)
指定管理料(物価高騰による経費増額)
- 扶助費…生活保護扶助費の増加
- 補助費等…ふくおか県央広域環境施設組合
及び飯塚地区消防組合負担金の増額

Q 性質別の歳出決算額において、義務的経費の割合が11.8%の増となっているが、その主な原因は？

A 人件費…会計年度任用職員の共済組合加入により負担金が増加
扶助費…物価高騰対応重点支援給付金
及び価格高騰重点支援金が増加

本会議での討論 ※一部抜粋

反対討論

- ・令和4年度の決算において、福岡県内の市の中でも嘉麻市だけが、経常収支比率が100を超える状況であったが、行財政改革が実施されず、令和5年度はさらに悪化！
- ・専門機関に立て直しの検証と助言をうけ、歳出削減と財政力強化に向けた取り組みを早急に行うべき！
- ・地方債の借入(借金)は右肩上がり！
- ・基金積立(貯金)は取り崩しが続き、底をつく状況！
- ・今後、ごみ処理施設の建設の負担金がか控えている。人件費の見直しなど改善が必要！

賛成討論なし



歳入から歳出を引くと黒字になっているけど、嘉麻市の財政状況って厳しいの？